

動き補償機能付きテレビ方式変換装置「Vision-TSC」

1991 年（平成 3）、動き補償内挿機能付きテレビ方式変換装置を開発・商品化した。異なるテレビ方式（NTSC、PAL、SECAM）を高画質を保ちながら互いに変換することができ、国際テレビ中継に用いられる。テレビ方式が異なると、秒単位の画面数も異なるので、画面変換には局所的な動きを正確に推定する必要がある。そのため「動き推定前処理フィルタ」や「高精度勾配法を用いた階層的動き推定」、「動き平滑化用後処理フィルタ」などを開発し、高品質な方式変換を実現した。この装置は、バルセロナ・オリンピック大会やシドニー・オリンピック大会などの国際テレビ中継で使用された。

出典：KDD 社史